令和7年第1回三島町議会3月定例会会議録

招集年月日 令和7年2月10日
招集の場所 三島町役場
開 会 令和7年3月7日 午前10時00分 議長宣告
応 招 議 員 8名
1番 馬場 学 2番 青木 喜章 3番 菅家 三吉
5番 河越 昭利 6番 大竹 克昌 7番 吉垣 絵梨子
8番 五十嵐 健二 9番 二瓶 俊浩
不応招議員 なし
出席議員 8名
1番 馬場 学 2番 青木 喜章 3番 菅家 三吉
5番 河越 昭利 6番 大竹 克昌 7番 吉垣 絵梨子
8番 五十嵐 健二 9番 二瓶 俊浩
欠席議員 なし

地方自治法第121条の規定により説明のため会議に出席した者の職氏名

町長	矢澤 源成	副町長	小堀 庄太郎
教育長	山口 浩	参事兼総務課長	小柴 謙
特命担当課長	渡邊 浩	町民課長	板橋 淳也
産業建設課長	小松 昭	会計管理者	菅家 直人
地域政策課長	舟木 孝治	生涯学習課長	五十嵐 義幸

本会議に職務のため、出席した者の職氏名

議会事務局長	星 保弘
--------	------

議 事 の 経 過

◎開議

○議長 おはようございます。定刻でございます。

全議員の出席を見ております。

それでは、これより本日の会議を開きます。(午前10時00分)

◎議案第2号の審議(説明・質疑・討論・採決)

○議長 日程第1、議案第2号、刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の一部を改正する条例を議題といたします。

説明を求めます。総務課長。

(総務課長、議案書により説明)

○議長 説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

(質疑なし)

○議長 質疑なしと認めます。

討論に入ります。討論ありませんか。

(討論なし)

○議長 討論を終わります。

これより議案第2号、刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の一部を改正する条例を採決いたします。

本案は原案のとおり決することにご異議ございませんか。

(異議なし)

○議長 ご異議なしと認めます。

よって、議案第2号は、原案のとおり可決されました。

◎議案第3号の審議(説明・質疑・討論・採決)

○議長 日程第2、議案第3号、職員の給与に関する条例の一部を改正する条例を議題といたします。

説明を求めます。総務課長。

(総務課長、議案書により説明)

○議長 説明が終わりました。これより質疑に入ります。8番、五十嵐健二議員。

○8番 文言の意味をお聞かせいただきたい部分がありまして、新旧対照表の中の第11条の2、(2)番のほうの括弧書きで、届出しないが事実上、婚姻関係と同様の事情にあるものを含む、同条においても同じというふうな形で書いてありますよね。配偶者というのは、民法上、決まっている、法律上、配偶者というのは決まっているわけですけども、該当しないというのはどういう意味なのか。婚姻関係と同等の事情にあるものを含むというのは、婚姻はしていないんだけど、それを認めるということなんでしょうか。

○議長 総務課長。

○総務課長 事実婚ということで認める、届出がなくても生活が事実上、婚姻と同じような状況であればそれは認めるということです。

○議長 五十嵐健二議員。

○8番 三島町ではこういうことはないと思うんですけども、やはり大きいところでこういう話が出てきてこういうふうになったのか。これは住居手当ですよね。扶養はなくなりますから別に問題ないと思うんですけども。事実婚、法律上は認められているのかどうか分かりませんが、それも一応、認める形での改正というふうに理解していいわけですね。

○議長 総務課長。

○総務課長 民法上、認められているので、こちらもそうですが、改正前の扶養手当の中にも「配偶者の中には届出をしないが」とこの文言はありましたので、前から町のほうとしては認めているということがありますので、住居手当のほうもなるということでございます。こちらのほうは単身赴任者ということもあるので、三島町から別なところへ行ったところで配偶者の人たちのところの住所ということもあつたりしますので、そちらのほうは認めるということになります。

○議長 五十嵐健二議員。

○8番 今までこういうものに該当になった方はいないですよ、そもそも。そんなようなところもちょっとお伺いしたい。

○議長 総務課長。

○総務課長 確実なあれですが、該当者はいないというふうに確認しております。

○議長 ほかに質疑ありませんか。

(質疑なし)

○議長 質疑なしと認めます。

討論に入ります。討論ありませんか。

(討論なし)

○議長 討論を終わります。

これより議案第3号、職員の給与に関する条例の一部を改正する条例を採決いたします。

本案は原案のとおり決することにご異議ございませんか。

(異議なし)

○議長 異議なしと認めます。

よって、議案第3号は、原案のとおり可決されました。

◎議案第4号の審議(説明・質疑・討論・採決)

○議長 日程第3、議案第4号、職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例を議題といたします。

説明を求めます。総務課長。

(総務課長、議案書により説明)

○議長 説明が終わりました。これより質疑に入ります。8番、五十嵐健二議員。

○8番 この制度というか、大変職員にとってはいいことではないのかなと思うんですけども、両立支援という形で出ていますよね。介護両立支援制度。その両立支援というのは具体的に、介護休暇も入るのかなと思うんですけども、仕事をやりながら介護だとかそういったものを支援するというふうな形で出ているんですけども、具体的にはどのような内容になるのか。

- 議長 総務課長。
- 総務課長 大変申し訳ないんですが、なかなかそこまで確認できておりませんので、後ほど五十嵐議員のほうにご説明させていただきます。
- 議長 五十嵐健二議員。
- 8番 もう1点、よろしいですか。17条の3、職員に対する介護両立支援制度に係る研修の実施。3つあるわけですけれども、これは役場の職員の方がこれに当たるということで理解してよろしいわけですか。
- 議長 総務課長。
- 総務課長 そのとおりでございます。
- 議長 ほかに質疑ございませんか。
(質疑なし)
- 議長 質疑を終わります。
討論に入ります。討論ありませんか。
(討論なし)
- 議長 討論を終わります。
これより議案第4号、職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例を採決いたします。
本案は原案のとおり決することにご異議ございませんか。
(異議なし)
- 議長 ご異議なしと認めます。
よって、議案第4号は、原案のとおり可決されました。
◎議案第5号の審議(説明・質疑・討論・採決)
- 議長 日程第4、議案第5号、三島町国民健康保険税条例の一部を改正する条例を議題といたします。
説明を求めます。町民課長。
(町民課長、議案書により説明)
- 議長 説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑ありませんか。
(質疑なし)
- 議長 質疑なしと認めます。
討論に入ります。討論ありませんか。
(討論なし)
- 議長 討論を終わります。
これより議案第5号、三島町国民健康保険税条例の一部を改正する条例を採決いたします。
本案は原案のとおり決することにご異議ございませんか。
(異議なし)
- 議長 ご異議なしと認めます。
よって、議案第5号は、原案のとおり可決されました。
◎議案第6号の審議(説明・質疑・討論・採決)

○議長 日程第5、議案第6号、早戸交流拠点施設設置条例の一部を改正する条例を議題といたします。

説明を求めます。地域政策課長。

(地域政策課長、議案書により説明)

○議長 説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑ありませんか。8番、五十嵐健二議員。

○8番 これは企業組合のほうからの要望でありますから、これはこれでいいのかなと思うんですけども、実際に利用客、入浴客もそうなんですけれども、先ほどの説明では宿泊客は100%のような形になっているわけなんですけれども、入浴客の現在、コロナ禍から比べたら増えているとは思うんですけども、今回の決算では若干の黒字になったと。ただ、累積赤字があるのでまだまだ大変だという話は聞きました。ですから、企業努力ということを考えれば、今の物価高騰に合わせての値上げは仕方がないのかなと考えるわけなんですけれども、実際の利用客の状況というのは、どのようになっているのか。

○議長 地域政策課長。

○地域政策課長 今ほど質問がありました日帰り客についてなんですけれども、令和5年と比較して114%の増加となっております。実質で言いますと4万4,228人ということで、令和5年と比べると増えている状況にはなります。

同じく、宿泊者数についてなんですけれども、令和5と6を比べたときには、前年比110%、およそ1割ほどは増えているという状況になります。

○議長 ほかに質疑ありませんか。2番、青木喜章議員。

○2番 確認ですけれども、この1万円というのは税込みですか、税抜きですか。

○議長 地域政策課長。

○地域政策課長 条例上、消費税、また、入湯税を含まない金額となっておりますので、税抜きの金額になります。

○議長 ほかに質疑ありませんか。

(質疑なし)

○議長 質疑を終わります。

討論に入ります。討論ありませんか。

(討論なし)

○議長 討論を終わります。

これより議案第6号、早戸交流拠点施設設置条例の一部を改正する条例を採決いたします。

本案は原案のとおり決することにご異議ございませんか。

(異議なし)

○議長 ご異議なしと認めます。

よって、議案第6号は、原案のとおり可決されました。

◎議案第7号の審議(説明・質疑・討論・採決)

○議長 日程第6、議案第7号、指定管理者の指定について(三島町観光交流施設)を議題といたします。

お諮りいたします。日程第6、議案第7号は、菅家三吉議員に直接の利害関係があると認められますので、地方自治法第117条の規定により除斥としたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

(異議なし)

○議長　ご異議なしと認めます。

よって、菅家三吉議員を除斥とすることに決定いたしました。

菅家三吉議員の退場を求めます。

日程第6、議案第7号、指定管理者の指定について(三島町観光交流施設)を議題といたします。

説明を求めます。地域政策課長。

(地域政策課長、議案書により説明)

○議長　説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑ありませんか。8番、五十嵐健二議員。

○8番　観光協会、今、女性の方を中心に動いているわけですがけれども、今後これからのことを考えると、やはり協力隊なり男性の方を入れる、そういった形で入れるとか。あるいは、今、イベントの中で問題になっているのは、雪と火のまつりです。今回、形を変えてやるような形になっていますけれども、観光協会としてもやめるという形は取っていないわけですがけれども、町当局として今後どのような形で観光協会のほうとその辺について話を進めていくのか。ほかのイベントに関しては何ら問題なく進めているとは思いますが、今後の方針というか、そういったものがもし今あるのであればお聞きしたいと思いますので、よろしくをお願いします。

○議長　地域政策課長。

○地域政策課長　今ほどのご質問です。観光協会、やはり人手不足というのもありまして、引き続き人手というのは常日頃、誰かいい人いないかということで考えてはいるんですが、なかなか見つからない状況にあります。そのような中で、今現在いる職員の中で一生懸命対応しているのが現状です。

そして、今後のいわゆる観光推進事業の中での雪と火のまつりについてですが、やはりこれは冬場の交流人口の増加策でもありますし、いわゆるサイノカミ、団子さしなどの伝統行事の継承という面もあります。これらはやはり町にとっても必要な事業として考えておりますので、事業の主催団体である雪と火のまつり実行委員会、これは様々な行政団体もありますし、地区もありますので、これらの関係団体と協力しながら継続していきたいと考えております。

○議長　五十嵐健二議員。

○8番　雪と火のまつりの発祥というのは、文化協会で最初に始めてきたわけですがけれども、それが観光協会のほうに移ってもう大分なるわけです。ですから、昔から大分、相当続けているわけですから、この辺の近辺では一番早いと考えておりますので、形は今までのような形ではいかないにしても、やはりやめるのは簡単だと思うんです。ですから、続ける方向で考えているならば、そのような方向で進んでいただきたいと思いますので、その辺のところはよろしくお聞きしたいと思います。

○議長 答弁はいいですか。

○8番 はい。

○議長 ほかに質疑ありませんか。

(質疑なし)

○議長 質疑なしと認めます。

討論に入ります。討論ありませんか。

(討論なし)

○議長 討論を終わります。

これより議案第7号、指定管理者の指定について（三島町観光交流施設）を採決いたします。

本案は原案のとおり決することにご異議ございませんか。

(異議なし)

○議長 ご異議なしと認めます。

よって、議案第7号は、原案のとおり可決されました。

それでは、菅家三吉議員に関する案件は終了いたしました。菅家三吉議員を入場させていただきます。

◎議案第8号の審議（説明・質疑・討論・採決）

○議長 日程第7、議案第8号、指定管理者の指定について（三島町ミニライスセンター）を議題といたします。

説明を求めます。産業建設課長。

(産業建設課長、議案書により説明)

○議長 説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑ありませんか。6番、大竹克昌議員。

○6番 少し分からないのでお聞きしたいのですが、三島町農業委員会が定める農作業賃金表、基準額というんですか、それに準じ、ライスセンター等の料金を定めておりますが、この農業委員会の基準額というか、これは今の物価高騰の時代に沿った金額になっているのか。昔のままなのか。その辺をお聞かせ願いたいと。

○議長 産業建設課長。

○産業建設課長 農作業の標準賃金額につきましては、毎年度、春先4月に皆様のほうにお知らせ版とともに配布しております。こちらにつきましては、毎年3月に農業委員会及び農業関係者を集めまして、大竹議員がおっしゃいましたいわゆる経費とか様々、燃料費、人件費等も高騰してございますので、そういったことを加味しながら、かつ、近隣町村からも情報等を集めまして、そのような形で毎年改定しております。

昨年度につきましては据え置いたという状況で、令和4年度から5年については値上げしてございました。ですので、今月、議会が終わりまして翌週あたりに委員会を開きまして、令和7年度の農作業の標準額を定めるような形で現在、進めているところでございます。

○議長 ほかに質疑ありませんか。

(質疑なし)

○議長 質疑を終わります。

討論に入ります。討論ありませんか。

(討論なし)

○議長 討論を終わります。

これより議案第8号、指定管理者の指定について（三島町ミニライズセンター）を採決いたします。

本案は原案のとおり決することにご異議ございませんか。

(異議なし)

○議長 ご異議なしと認めます。

よって、議案第8号は、原案のとおり可決されました。

お諮りいたします。休憩を取りたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

(異議なし)

○議長 ご異議なしと認めます。

よって、11時20分まで休憩といたします。(午前11時11分)

◇

◇

◇

○議長 再開いたします。(午前11時20分)

先ほど議案第4号において、介護両立支援制度についての中身についての質問がございました。後ほどということでありましたので、総務課長より今、説明していただきます。総務課長。

○総務課長 それでは、皆様のほうにホームページの資料ということでお渡しさせていただきました。両立支援制度の概要ということで、今回は介護両立支援ということで皆様にお渡ししました資料の右側の部分になります。介護の部分ですが、介護のほうを見ていただきますと短期介護休暇ということで、休みを取ったり時間外時間を勤務しないということも認められるということで、こういう制度をしながら職員の介護を支援していくということでございます。

介護を見ますと、短期介護休暇で要介護者の介護のため年5日間、要介護者が2人以上の場合は10日までの休暇を取ることができますということと、介護休暇で要介護者の介護のため最大6か月まで、3月まで分割可能ということですが、休暇を取ることができますということだそうです。

介護時間に関して、要介護者の介護のため連続する3年の期間内、1日につき2時間以内、勤務しないことが認められているということでございます。そのほか、右側としては育児・介護、共通でそれぞれ子供が「3歳に達するまで」が今、「小学校前」というふうに変ったんですが、このような制度もありますので、職員のほうが必要となった場合、育児のほうも必要となった場合はこの制度を利用して職場とも連携しながら職員の育児・介護に当たっていくということになります。

以上でございます。

◎議案第9号の審議（説明・質疑・討論・採決）

○議長 日程第8、議案第9号、令和6年度三島町一般会計補正予算を議題といたします。

説明を求めます。総務課長。

(総務課長、議案書により説明)

○議長 お諮りいたします。昼食休憩を取りたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

(異議なし)

○議長 ご異議なしと認めます。

よって、13時10分まで昼食休憩といたします。(午後0時06分)

◇ ◇ ◇

○議長 再開いたします。(午後1時10分)

令和6年度三島町一般会計補正予算の説明は終わっておりますので、これより質疑に入ります。質疑ありませんか。8番、五十嵐健二議員。

○8番 19ページの民生費なんですけれども、負担金補助及び交付金の中で住民税非課税世帯臨時給付事業、その中で一番下に不足額給付という項目があるんですけれども、その不足額の理由というか、訳を説明していただきたいのと、一番上の除雪機修繕、これは各地区においてある除雪機でいいのかどうか。その辺のところもお伺いします。

○議長 町民課長。

○町民課長 まず、19ページの社会福祉総務費の負担金補助及び交付金の除雪機修繕等補助金についての30万円ですが、議員ご指摘のとおり、各地区に配備している除雪機等の修繕に係るものについて増加する見込みがあるということで30万円の補正をしたところでございます。なお、今現在、宮下地区、西方地区、早戸地区のほうからそういうお話が出ておりますので、そういったことも含めて30万円の予算補正を計上したところでございます。

もう一つは、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の不足額給付のことについてでよろしいでしょうか。(「そうです」の声あり)

こちらのほうは、今回、繰越明許費を計上しているものの事業でございまして、国のほうから行う事業で繰越明許費で行う形で今、予算を計上しているものでございます。内容としましては、今年度住民税の引き切れなかった方に対する給付を行いました。その新たなバージョンで、今、確定申告等の申告を行っております。その結果に基づいたものについて、まだ住民税、引き切れなかった方に対するものに対して1人当たり3万円の給付をするという事業でございます。

ただし、今回新たに行うものについての給付事業ですけれども、今年度給付されている方については対象外という形になります。なので、一応予算上については100世帯分を計上しているんですが、今回の確定申告の状況でどれだけ出るかというのは未定ですが、今現在、100世帯分を計上して繰越明許費とさせていただいて、来年度実施するという計画でいるところでございます。

○議長 ほかにありませんか。2番、青木喜章議員。

○2番 歳入のほうなんですけれども、9ページで特定地域づくり事業推進交付金の国の補助金が減額になっておりまして、次のページ、県の総務管理費補助金で20万9,000円が増額。これは、要するに国の補助が減って県がプラスという考え方でいいのか。それとともに、結論として町としてはトータルで幾ら補助を出しているのか、お伺いします。

○議長 地域政策課長。

○地域政策課長　　まず、歳入の中身ですが、9ページの108万4,000円の減額について、こちらのほうは、いわゆる組合の運営費、今回ですと派遣職員2名、さらに事務局費、それらの合計の2分の1が公費負担になります。さらに、公費負担の2分の1が国から来るということで、そういう仕組みになっておりますが、そもそも組合のほうで経費があまりかからなかったということで、歳出も減、歳入も減という形になります。

続いて、10ページの県補助金、総務管理費の補助金で、福島県特定地域づくり事業推進事業で20万9,000円、上げている。この金額についてですが、県の補助金で組合の収入から支出を引いた赤字部分に対する補助制度が県にありまして、今回組合の収支が赤字だったためにこの分の補助金が県から来ますので、20万9,000円を計上しているものです。

これに対する歳出、支出のほうは16ページです。18の負担金補助及び交付金の下から2段目、特定地域づくり事業運営支援金41万8,000円があります。これが町から組合のほうに出す分、いわゆる赤字分です。この半分が先ほどの収入、歳入の20万9,000円が国から来るということになります。赤字に対して町は41万8,000円、出します。その分、県から20万9,000円、来ます。そういう仕組みの内容となっております。（「運営。130」の声あり）

失礼しました。

136万5,000円については、先ほどの108万4,000円に対する支出の減になります。こちらのほうでも、歳出が減ったことに伴って国の交付金も108万4,000円、減ります。そのような中身になります。

○議長　　青木喜章議員。

○2番　　次、いいですか。23ページの委託料、山菜加工場支援アドバイザー、マイナス50万円になっておりまして、なおかつ、7年度当初予算では支援アドバイザー、200何万円が全額下げられております。ということは、山菜加工場支援、もう大丈夫だろうという判断なのか、その辺をお伺いしたいです。

○議長　　産業建設課長。

○産業建設課長　　まず、山菜支援加工アドバイザー、50万円減につきましては、実績見込みによります減額でございます。

それで、今ほどの青木議員からのご質問ですが、まず、アドバイザーの派遣につきましては、令和2年度より事業を開始しまして、そのときの議会との約束では3年間、いわゆる2、3、4ということでの約束であったということでございます。ですが、その間、いわゆるコロナ禍で影響が長引きましたので5年、6年と延長させていただきまして、昨年4月の山菜加工場の運営委員会、こちらはJAの本部のほうで毎年2回行っているものですが、4月の1回目の席上で、一応議会での今ほどの約束、3年であるし、コロナで2年間延長したということもありましたので、6年目はありませんということで、4月早々に6年度いっぱい終了しますということの内容を説明させていただきまして、そちらにつきましてJAのほうでも了解したということでございます。

なお、アドバイザーの阿部氏につきましても早々に、JAに説明する前にこういうことですのでということで説明しまして納得いただいたということでございます。阿部氏を派遣したことによりまして、その後、いわゆる赤字幅、1,000万円を超えない赤字幅で運営で

きているということで、JAのほうも新商品の開発等でこれから自分のほうでも取り組んでいくということも確認しておりますので、そのようなことも含めて令和7年度予算につきましては計上していないという内容になってございます。

以上です。

○議長　ほかに質疑ありませんか。5番、河越昭利議員。

○5番　歳出の28ページ、住宅費、土木費の住宅管理費ですが、需用費の修繕料、132万円となっておりますが、トータルではマイナスなんですけれども、内容を見ますと国や県の支出金がマイナスで、一般財源から400万円、出ているというところがまだよく分からなかったなので、その説明をお願いしたい。

○議長　産業建設課長。

○産業建設課長　まず、議員ご指摘の歳入の部分は、10ページの土木費補助金の790万7,000円の社総金、社会総合整備費のほうでしょうか。歳入減は。（「分からないからそれも教えてください」「聴取不能」）の声あり）意味が分かりました。

まず、修繕料の件につきましては、こちらはいわゆる需用費で一般的な修繕でありまして、住宅で温水器からの漏水等がありましたので、その修繕の中身が上がってございまして、国庫支出金722万8,000円の減というのは、いわゆる町営住宅の改修工事、いわゆる工事請負費で現在、中平を2戸改修しております。そちらの改修費に充てるいわゆる補助ということでございますので、この需用費の修繕料に充てるものではございませんので、全く目的、内容が違うという中身でのことでございます。

以上です。

○議長　ほかに。五十嵐健二議員。

○8番　20ページの民生費、社会福祉施設費の中の委託料、温泉熱利用ボイラー導入計画策定及び基本設計、これは予算で多分1,100万か何か取っていたものではないのかなと思うんですけども。残金が600万円、残っているわけですけども、予算の取り方がちょっと分からないんですけども、結果、大体半分なのかな。そのぐらいの金額を使っただけの事業だと思ってしまうんですけども、計画策定と基本設計の内訳というのはどのようになっているか、それも一緒にお伺いしたいと思います。

○議長　町民課長。

○町民課長　議員おっしゃるとおり、当初予算は1,100万円で実施設計と基本設計という形で予算計上しておりましたが、こちらのほう、事業計画に当たりまして、県のほうともヒアリングをしながら事業を行った次第でございまして。その結果、実際、入札した結果、落札金額が非常に、思った以上に、この額で決定になったものですから、約半分の経費で済んだということでありますので、600万円ほど確定によって残が出たということで補正で落としたという形になります。実際は、実施設計、基本設計を行って完了しております。実施要綱、基本構想と、はい。

○議長　五十嵐健二議員。

○8番　もう一つ、計画策定と基本設計において、どのような予算、考え方ですよね。計画策定でどのぐらい予算がかかったのか。基本設計のほうでどのぐらいお金がかかったのかということも、分かれば。その辺のあれをお聞かせいただきたい。

- 議長 町民課長。
- 町民課長 すみません。内訳等は分かるんですが、今ほど私の手元に実績の数値の資料、ありませんので、後ほどご説明したいと思います。
- 議長 ほかにありませんか。3番、菅家三吉議員。
- 3番 歳入、11ページの県補助金農林水産業費県補助金で経営所得安定対策等推進事業、説明の中で不採択というご説明がありました。そして、23ページの農林水産業費の農業費負担金補助及び、この中に経営所得安定対策事業もろもろ、あと、新規就農等ありますが、この辺のご説明をいただければと思います。
- 議長 産業建設課長。
- 産業建設課長 まず、歳入の11ページのほうは、経営所得安定対策推進事業というのはいわゆる新規就農者に対する補助ではないんです。これは、三島町農業再生委員会というものを立ち上げております。農業委員会も関係してくるんですけども。その事務費の部分の一部が9万8,000円減になっているというところと、すいません。説明が詳しく、一文、抜けておりますが、まず内訳を申し上げますね。経営所得安定対策推進事業費の部分での減額9万8,000円、それで、新規就農者育成対策事業資金で375万円、これがいわゆる新規就農者に対する畜産に対する補助の内訳でございまして、ここ、失礼しました。11ページ、もう1行、加えて説明を入れるべきところでしたので、おわび申し上げます。
- 再度、申し上げます。経営所得安定対策等推進事業で9万8,000円の減、そして、新規就農者育成対策事業としまして375万円の減ということで、足すと375万のという形になります、内訳。申し訳ございません。（「後ろ、後ろ。23ページ」の声あり）
- そして、23ページの18番の負担金補助及び交付金の9万8,000円ですね。これが結局、事務費部分の9万8,000円の減、いわゆる三島町農業再生協議会に対する補助が9万8,000円減になったということで、歳入歳出とも9万8,000円の減という行った、来たの中身でございまして。
- 議長 ほかにありませんか。7番、吉垣絵梨子議員。
- 7番 24ページ、農業費の鳥獣被害対策費の12番委託料、放任果樹伐採についてなんですけれども、今年度、住民の方で伐採をしてほしいというお願いをしたんですけれども、それが今年度は難しいというお話だったんですけれども、予算が減額されているので、その理由を教えてください。
- 議長 産業建設課長。
- 産業建設課長 まず、放任果樹伐採ですね。いわゆる町の予算分と国の補助金を受けている部分がありまして、これは町の予算分でございました。
- それで、放任果樹伐採の趣旨としましては、一昨年、令和5年ですが、熊が人家近くの本当に軒先二、三メートルの木に登っていたということがありまして、そういった人家、人、家等に対して近いところで人的被害や物的被害が発生するおそれがあるものに対して切りますよということでございました。そして、1件、1件、上がってきましたので、それに対しての審査、現地調査を行って審査を行いました。その結果、多分難しいと言ったところは、予算よりもその木が動物、熊とかそういったものを誘引する原因にならないでしょうということで切らないという説明をしたような、と思いますので、そういったこと

での内容でございます。予算ではなくてですね。もう一つあるのは、いわゆる電線に絡んでいる木が結構あるんです。電線に絡んでいますと我々では切れません。東北電力に依頼して切るような形になります。そうした場合、東北電力は無償で切ってくれるということもあって、そのような形でその分が浮いたということもありますので、そういったことの減というような中身になっていきますので、住民の方には若干そういった部分も、もしかすると我々の説明が足りなかった部分があるかもしれませんので、そういった部分で切れないということでの説明だったと思います。

以上です。

○議長 吉垣絵梨子議員。

○7番 続いて、次に26ページ、商工費の公有財産購入費で宮下駅前観光施設用地取得のことで、ここは購入ではなく借りるようになったというお話だったんですけども、もう一度、月の金額なり年の賃借料について教えてください。

○議長 地域政策課長。

○地域政策課長 これまでは無料ということでありましたが、テレサ・テンの歌碑が建ったということで今後、恒久的な施設になるということで、令和7年度からJRのほうでは年額1万5,000円と伺っております。

失礼しました。1万5,000円です。年額1万5,000円。

○議長 ほかにございませんか。6番、大竹克昌議員。

○6番 穴を見つけるわけではありませんが、17ページ、一番下の委託料、電算処理、説明書のほうには委託料重複予算計上となっておりますが、これは一体どういうわけでしょうか。

○議長 町民課長。

○町民課長 こちらのほう、当初予算と今回の3月で実績の精査をしているところでしたが、当初予算の計上の中で同じ項目の予算が二重に登録されていたということが判明しまして、今回その分を補正で落とささせていただきました。誠に申し訳ございませんでした。

○議長 大竹克昌議員。

○6番 しっかりやってください。

○議長 ほかにありませんか。五十嵐健二議員。

○8番 補正で出ている道路除雪、地区除雪、27ページなんですけれども、実際に4,720万、補正で出していれば、合計で大体1億800万ぐらいにはなるのかな、両方、合わせると。ただ、実際に道路除雪、地区除雪でかかっているお金はこれだけではないですよ。この下の使用料及び賃借料、車両重機等借上料というのは排雪のための借上げですよ。そうすれば、除雪費がどのぐらいになっているのかというのは、町のほうで把握しているわけですか。

○議長 産業建設課長。

○産業建設課長 まず、4,720万円、補正後ですが、補正後の金額が1億942万3,000円となります。

そして、議員のお話にあった道路除雪、金額を把握しているのかということでござい

すが、まず、1月末までの除排雪の経費としましては、大きくいきますといわゆる道路の除雪があります。そのほかに排雪、いわゆる除雪してたまった雪を排雪するものとして、あと、道路の斜面につく雪庇落とし等の内容等がございます。大きくはその2つですね。あと、その他、細かいものもありますが、そういったものを合わせまして、1月末の時点での支出が4,300万円ほどとなっております。このままで行きますと足りなくなるというのが2月のご存じのとおりのものでございました。

それで、まだ正確な金額は全て上がってきておりませんが、2月分の支出見込み、いわゆる道路除雪の分、そして排雪、各地、かなり行いました。そういったものを今現在、見込んでおりますのが、2月だけで4,300から4,500万円程度は来るのではないかとということで見込んでおります。

そうしますと、残り合わせますと2,000万円ぐらいはまだ残りますので、残り2,000万円ですと3月になります。3月分ですと、今日、雪が降っておりますが、この後の天候を見ますと、ずっと気温も高めで天候も悪くないということもありますので、そういった意味で、金額等もあらかじめ多めに見ておりますので、そういったことでの補正予算、4,720万円を計上したという中身となっております。

以上です。

○議長 五十嵐健二議員。

○8番 そうすれば、除雪費に関しては、今回の補正を出した時点ではそれで終了するのではないかと、もしかすると少しは余るのかなというふうな考え方でよろしいわけですね。

○議長 産業建設課長。

○産業建設課長 議員お見込みのとおりです。ただ、やはりちょっとぎりぎりになりました。最初は2,000万弱だったんですが、さらにプラス、ただいま2,500万程度上げてこの金額まで持っていったと。ぎりぎりであらゆる大雪が降り始めたので、足りないだろうということで改めて倍近い金額を積み上げてこの金額になったということでございますので、大体見込みとしてはそんなに狂いはなかったのかなという認識でございます。

○議長 ほかにございませんか。ありませんか。

(質疑なし)

○議長 質疑を終わります。

討論に入ります。討論ありませんか。

(討論なし)

○議長 討論を終わります。

これより議案第9号、令和6年度三島町一般会計補正予算を採決いたします。

本案は原案のとおり決することにご異議ございませんか。

(異議なし)

○議長 ご異議なしと認めます。

よって、議案第9号は、原案のとおり可決されました。

◎議案第10号の審議(説明・質疑・討論・採決)

○議長 日程第9、議案第10号、令和6年度三島町国民健康保険特別会計補正予算を議題といたします。

説明を求めます。町民課長。

(町民課長、議案書により説明)

○議長 説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

(質疑なし)

○議長 質疑なしと認めます。

討論に入ります。討論ありませんか。

(討論なし)

○議長 討論を終わります。

これより議案第10号、令和6年度三島町国民健康保険特別会計補正予算を採決いたします。

本案は原案のとおり決することにご異議ございませんか。

(異議なし)

○議長 ご異議なしと認めます。

よって、議案第10号は、原案のとおり可決されました。

◎議案第11号の審議(説明・質疑・討論・採決)

○議長 日程第10、議案第11号、令和6年度三島町路線バス事業特別会計補正予算を議題といたします。

説明を求めます。総務課長。

(総務課長、議案書により説明)

○議長 説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

(質疑なし)

○議長 質疑なしと認めます。

討論に入ります。討論ありませんか。

(討論なし)

○議長 討論を終わります。

これより議案第11号、令和6年度三島町路線バス事業特別会計補正予算を採決いたします。

本案は原案のとおり決することにご異議ございませんか。

(異議なし)

○議長 ご異議なしと認めます。

よって、議案第11号は、原案のとおり可決されました。

◎議案第12号の審議(説明・質疑・討論・採決)

○議長 日程第11、議案第12号、令和6年度三島町介護保険特別会計補正予算を議題といたします。

説明を求めます。町民課長。

(町民課長、議案書により説明)

○議長 説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑ありませんか。8番、五十嵐健二議員。

○8番 1点だけお聞きします。保険給付費が非常に減額になっているわけですが、

これはそういった給付を必要とする人たちが少なくなっていると受け止めてよろしいわけですか。

○議長 町民課長。

○町民課長 そのとおり、議員ご指摘のとおりで、施設に入所またはサービスをする人が今年度においては利用する方が少なかったという実績による金額でございます。

○議長 五十嵐健二議員。

○8番 町で進めている健康+10歳でしたか、ああいう運動が実を作ってきたのかなというふうには、こういう形で出てきているのかなとも考えるわけですがけれども、実績としての形として残っているのかと思うわけですがけれども、町当局のほうの判断というか、考え方、その辺のところはどのように考えていますか。

○議長 町民課長。

○町民課長 議員ご指摘のとおり、町としましては、健康フォーラム、様々な事業、健康+10歳というのをテーマとして行っております。やはり一番今回、介護保険についてこのような数字、利用者が少なくなったというのは、やはり三島町につきましては地域包括支援センターを直営で運営しているということがありまして、職員はじめスタッフが小まめに健康講座を各地区において出向いたり、出前講座を行ったり、ましてや認知症サポートの養成講座など、そういったきめ細かなサービス事業を地区において多く実施しているところが一番大きいところかなと。そこによりましていち早く状況を把握し重くならないような対応策を取っているという形が、今回の実績の結果かと思っております。

○議長 ほかに質疑ありませんか。

(質疑なし)

○議長 質疑を終わります。

討論に入ります。討論ありませんか。

(討論なし)

○議長 討論を終わります。

これより議案第12号、令和6年度三島町介護保険特別会計補正予算を採決いたします。

本案は原案のとおり決することにご異議ございませんか。

(異議なし)

○議長 ご異議なしと認めます。

よって、議案第12号は、原案のとおり可決されました。

◎議案第13号の審議（説明・質疑・討論・採決）

○議長 日程第12、議案第13号、令和6年度三島町後期高齢者医療特別会計補正予算を議題といたします。

説明を求めます。町民課長。

(町民課長、議案書により説明)

○議長 説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

(質疑なし)

○議長 質疑なしと認めます。

討論に入ります。討論ありませんか。

(討論なし)

○議長 討論を終わります。

これより議案第13号、令和6年度三島町後期高齢者医療特別会計補正予算を採決いたします。

本案は原案のとおり決することにご異議ございませんか。

(異議なし)

○議長 ご異議なしと認めます。

よって、議案第13号は、原案のとおり可決されました。

お諮りいたします。休憩を取りたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

(異議なし)

○議長 ご異議なしと認めます。

よって、午後2時15分まで休憩といたします。(午後2時03分)

◇

◇

◇

○議長 再開いたします。(午後2時15分)

先ほど議案第9号で温泉熱利用ボイラーの導入計画策定及び基本計画の内訳について質問がありましたが、資料が手元になかったため後ほどということになっておりましたので、これより町民課長より説明をさせます。町民課長。

○町民課長 誠に申し訳ございませんでした。

先ほど8番、五十嵐議員からのご質問にあった予算書の歳出20ページ、社会福祉施設費の委託料、温泉熱利用ボイラー導入計画策定及び基本設計という形の内訳等ということでございました。

まず初めに、今年度当初予算で取っている金額が1,100万円。つまり、1,000万円事業で基本計画及び基本設計という形を含めた形での金額で予算計上しておりました。当初、そのときの見積りを今ほど確認させていただいたんですが、まず基本計画のほうについて大体700万円ぐらい、基本設計で300万円ぐらいで、合わせて1,000万円ぐらいというような見積りをいただいております。

今年度、県のほうの補助金がありますので、県とヒアリングを行いまして事業執行という形でスタートしたんですが、まず、県のほうからは、基本計画ができなかったら基本設計はできないだろうというようなこともありまして、今回、事業を行ったのは基本計画のみをつくったという形になります。基本設計をつくっておりません。それで基本設計の落札額が462万5,000円という金額でしたので、そちらで今年度基本計画を策定しまして1月末まで工期という形でやっていたので1月末で完成し、県に実績報告を提出しているところでございます。

よって、この金額の残額632万5,000円を減額させていただいたということで、補正で計上させていただいたという形になります。

◎議案第14号の審議(説明・質疑・討論・採決)

○議長 次に、日程第13、議案第14号、令和6年度三島町簡易水道事業会計補正予算を議題といたします。

説明を求めます。産業建設課長。

(産業建設課長、議案書により説明)

○議長 説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

(質疑なし)

○議長 質疑なしと認めます。

討論に入ります。討論ありませんか。

(討論なし)

○議長 討論を終わります。

これより議案第14号、令和6年度三島町簡易水道事業会計補正予算を採決いたします。

本案は原案のとおり決することにご異議ございませんか。

(異議なし)

○議長 ご異議なしと認めます。

よって、議案第14号は、原案のとおり可決されました。

◎議案第15号の審議(説明・質疑・討論・採決)

○議長 日程第14、議案第15号、令和6年度三島町下水道事業会計補正予算を議題といたします。

説明を求めます。産業建設課長。

(産業建設課長、議案書により説明)

○議長 説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

(質疑なし)

○議長 質疑なしと認めます。

討論に入ります。討論ありませんか。

(討論なし)

○議長 討論を終わります。

これより議案第15号、令和6年度三島町下水道事業会計補正予算を採決いたします。

本案は原案のとおり決することにご異議ございませんか。

(異議なし)

○議長 ご異議なしと認めます。

よって、議案第15号は、原案のとおり可決されました。

以上で、本日の日程は全部終了いたしました。

◎散会

○議長 本日はこれにて散会いたします。

お疲れさまでした。

(午後2時35分)